

2025 年度 授業コード: 22109500

授業科目	保育内容 人間関係						実務家教員担当科目	-			
単位	1	履修	選択	開講年次	2		開講時期	前期			
担当教員	園山 繁樹										
授業概要	人間は人との関わりの中で生き、育ち、人生を送っていく。乳幼児期は人生の基盤として人に対する基本的信頼感が育ち、他の人と関わりながら生きる力を育む大切な時期である。保育所保育指針では「保育の目標」の一つとして、「人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。」が挙げられている。5つの領域の一つ「人間関係」は、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。」ことを目標としている。この授業では、人間関係の意義や現代的課題を踏まえたうえで、「人と関わる力」を育む保育のあり方や子ども理解について具体的な事例を通して学ぶ。 授業はテキストに沿って進める。										
授業形態					授業方法	グループワーク					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の視点（身近な人と気持ちが通じ合う）と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育の領域（人間関係）を通して捉え、子どもに対する理解を深め、保育の内容について具体的に理解している。 2. 「人との関わり」に関する保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉え、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解している。 3. 子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、「人と関わる力」を育む観点から、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の基本的事項について理解している。										
理想的レベル	標準的レベルに加えて、「人と関わる」こと以外にも養護及び教育に関わる保育の内容がそれぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力の基礎を習得している。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			60								
小テスト			0								
レポート			0								
発表（口頭、プレゼンテーション）			0								
レポート外の提出物			40								
その他			0								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21618J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
テキストの章初めにある「予習課題」または授業で指定した「予習課題」に取り組み整理しておく。										1	

授業計画	
第1回	現代の乳幼児を取り巻く人間関係（第1章） 親子・きょうだい、地域における子ども同士の関係の変化、現代の乳幼児を取り巻く人間関係の特徴と課題
第2回	私たちにとっての人間関係とは（第2章） 自分もほかの人も大切にすること、私たちにとっての人間関係、子どもたちの人間関係を育む保育者への一歩
第3回	領域「人間関係」のねらいと内容及び評価（第3章） これからの時代に求められる力、乳幼児期に育みたい認知能力と非認知能力、保育のねらいと内容
第4回	0歳児の人との関わりと保育（第4章） 胎内～出生、出生～3か月未満、3か月～6か月未満、6か月～
第5回	1歳児の人間関係の育ちを支える（第5章） 広がっていく世界、自己主張、自分のモノ・友達のモノ、友達がいて広がる楽しさ
第6回	2歳児の人との関わりと保育（第6章） 2歳児とは、人と関わる力の育ちと保育、2歳児の育ちと保育のねらい・内容
第7回	3歳児の人間関係の育ちを支える（第7章） 3歳児の生活、気持ちの安定・気持ちをひらく、同じ場で遊ぶ楽しさ、一緒に遊ぶ楽しさと喜び
第8回	4歳児の人間関係の育ちを支える（第8章） 4歳児の揺れる心と行動、多様で複雑な関わり合いから生まれる力、4歳児クラスの保育者の役割
第9回	5歳児の人間関係の育ちを支える（第9章） 遊びや生活を通して幼児の育ちや関わりの変化を捉える、葛藤を乗り越える体験を通して幼児の育ちや関わりの変化を捉える
第10回	特別な支援を必要とする子どもの人間関係を支える（第10章） レイ君の事例を通して考える
第11回	子どもの育ちを支える保護者と保育者の人間関係（第11章） 気持ちを受け止め寄り添う、支え・共に向き合う、共感する、保護者の言葉をきちんと受け止める、共に成長
第12回	育ちを支える保育者同士の人間関係（第12章） 子どもの育ちを支える保育者同士の関係、複数担任の一人として、園内の保育者の一人として
第13回	子どもたちの人間関係を育む学級経営（第13章） 友達との関係を視野に入れた保育者と一人一人の子どものつながり、保育者と子ども・子どもと子どもをつなぐ
第14回	子どもの育ちに関わる地域の人々との人間関係（第14章） 地域のなかでの子どもの人間関係の育ち、保育実践にみる子どもと地域の人々との関わり
第15回	指導案作成から保育へ（第15章） 指導案の実際、指導案から保育へ、保育後の評価の考え方
テキスト	「演習 保育内容 「人間関係」—基礎的事項の理解と指導法—」 田代和美・榎本眞実編著 建帛社

参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	・ 保育所保育指針 https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010450&dataType=0&pageNo=1 ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010420 ・ 幼稚園教育要領 https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_2.pdf
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	・ 定期試験は成績発表後に回答例を提示する。
学生への メッセー ジ・コメ ント	急激な発達期である乳幼児期の人間関係の意味を理解し、子どもの身になって考えるためには発達心理学の知識が不可欠です。また、子ども一人一人や子ども同士の関りをていねいに観察する力も求められます。この授業でそのような力の基礎を磨いてください。